

御待夜祭の余韻の残る9月4日、成田で初の「全国義民サミット」が宗吾霊堂で開催されました。会場となった大本坊には全国から駆けつけた義民顕彰会の関係者など350人が集まり、講演やシンポジウムに熱心に耳を傾けました。「義民 その成立・継承と発展」と題したシンポジウムでは、小川市長ら3人のパネリストが登場。さまざまな事例を紹介し、人権・人道のために尽くす義民の精神を継承していこうと訴えました。



シンポジウムのパネリストのみなさん

## 第5回全国義民サミット(成田大会)開催 義民の精神を継承していこう



鍋木行廣氏の講演を聞く参加者

成田祇園祭写真コンテストが、県内外から377点の応募がありました。どの写真も華やかな祭りの雰囲気や伝わってくる秀作ぞろいの中、銚子市の山田助太郎さんの作品が見事「推薦」に。これを含めた37点が入賞作品として10月31日(水)まで成田観光館で展示されます。市内からは船井貢さん(幸町)、大関克知さん(困護台)が「佳作」に選ばれました。

## 成田祇園祭写真コンテスト 成田観光館で入賞作品を展示



船井さんの入賞作品

日本の歓迎会にあたる「ぶんげいばんかい文芸晩会」でダンスを披露



## 2001成田市少年の翼 咸陽に友好の花を咲かせて 帰国

「成田市少年の翼」の小・中学生40人が、8月17日から22日までの日程で中国の北京や西安などを訪れました。一行は広大な大地と悠久の歴史に大感激。友好都市・咸陽市では現地の子もたちと一緒に綱引きをしたり、紙飛行機を作って飛ばしたりして交流を深めました。青少年の健全育成を願う事業としてスタートした「少年の翼」もこととして17回目。これからも大きな友好の花を咲かせていきそうです。

成田国際高校卒業生が車いすを寄贈  
**在学中に200万個の  
 プルタブ集め**



平山社会福祉協議会長に車いすを贈呈する卒業生たち

文化祭でにぎわう成田国際高校で、9月8日、同校英語科卒業生らから、成田市社会福祉協議会に車いす1台が寄贈されました。これは、同科卒業生81人が、在学中に2年がかりで収集したアルミ缶のプルタブ200万個を、ボランティア団体の環公害防止連絡協議会を通して車いすと交換したもので、中心となった平野浩一さんは「炎天下のプルタブ集めなど苦しいこともあったが、多くの人の協力で達成できた」と活動を振り返りながら話してくれました。

みんな兄弟？



**セミのなる木発見！**

小さな木の枝にアブラゼミの抜け殻がびっしり。吾妻の岡澤和正さんから、ご覧のような写真が寄せられました。1カ所にこれほど集まっているのは珍しいと、思わずシャッターを切ったそうです。でも、こんな細い枝をよく落ちずにはい上がったものですね。

大袋の朝角力

**伝統に負けない熱戦を展開**



好勝負に思わず声援が

「ハツケヨイ、ノコツタ」。木立に囲まれた土俵の上に行司の声が響きます。毎年8月24日に大袋のあまの神社で行われる朝角力は、約300年の歴史を誇るという伝統行事。赤ちゃんからはじまる取組は、その後小学生による「3人抜き」「5人抜き」といった勝ち抜き戦へ進みます。勝てばプラモデルなどの賞品がもらえるとなつて、豆力士たちは闘志満々。見物人からも盛んに声援が送られていました。



鈴木理恵さん

成田市統計グラフコンクール

**市長賞には鈴木理恵さん**

成田市統計グラフコンクールに市内の小・中学生から100点の作品が寄せられ、この中から特別賞4点、金賞40点が選ばれました。

特別賞の受賞者は次のとおりです。

市長賞 鈴木理恵さん（豊住中2年）

議長賞 鈴木友絵・荻谷美加さん（遠山中3年）

教育長賞 軽部智洋くん（成田小6年）

統計研究会長賞 出山佳苗さん（豊住中3年）

応募されたすべての作品は、千葉県統計グラフコンクールに出品されます。